

氏名（本籍） 山口 啓（福岡県）  
学位の種類 博士（音楽）  
学位記番号 乙第19号  
学位授与年月日 令和6年3月19日  
学位授与の要件 学位規則第3条第4項  
学位論文題目 ペア・ノアゴーPer Nørgård（1932-）の打楽器独奏作品における  
作曲語法の研究

学位論文等審査委員

(総合審査)	委員長	准教授	中田 朱美
		教授	青木 高志
		教授	幸西 秀彦
		教授	津田 正之
		教授	友利 修
(演奏審査)	委員長	准教授	瀬尾 文子
		准教授	中田 朱美
		教授	青木 高志
		教授	幸西 秀彦
			悪原 至（岐阜聖徳学園大学専任講師）
(論文審査)	委員長		井手上 達（洗足学園音楽大学准教授）
		准教授	中田 朱美
		教授	津田 正之
		教授	友利 修
		准教授	瀬尾 文子
		水野 みか子（名古屋市立大学特任教授）	

---

審査結果の要旨

審査所見

学位審査委員会は、2024年2月7日、申請者 山口啓の学位審査修了リサイタルならびに学位申請論文に関して厳正な審査を行った。以下に、1. 演奏審査、2. 論文審査、3. 総合審査、に関する所見を記す。

1. 演奏審査

学位審査修了リサイタルでは、申請論文で取り上げたペア・ノアゴーの独奏打楽器のための楽曲から、《ウェーブズ》、《イーチン（易経）》、《アラベスク》が演奏された。ノアゴーの独奏打楽器作品のうち最も古いものから最新のものを取りあげ、研究内容の可視化を目指した意欲的なプログラムであった。今日の日本の打楽器界で《イーチン（易経）》以外の楽曲が取り上げられることは稀であるため、稀少性の高いリサイタルでもあった。いずれもきわめて高難度の技術を要する楽曲だが、終始落ち着き、おおむね安定したテクニックを持って演奏された点も評価された。

一方、今後の課題として、論文で言及されていた「秩序 idyll」と「混沌 catastrophe」の対比、「フラクタル構造」「アラベスク模様」「ウェーブ技法による波」といった視覚的イメージ、

全体を俯瞰した上での「ドラマ性」を演奏により浮かび上がらせると、一つのパフォーマンスとしていっそう魅力的なものになるという指摘も挙げた。

とはいえ、難曲であるノアゴー作品をいずれも高い水準で演奏したことは高く評価できるものであり、演奏審査委員会は博士の学位に相応しいものと判定した。

## 2. 論文審査

申請者の学位申請論文「ペア・ノアゴーPer Nørgård (1932-) の打楽器独奏作品における作曲語法の研究」は、ペア・ノアゴーの独奏打楽器曲全 10 作品のうち、トランスクリプションを除き、当初より独奏打楽器のために作られた全 6 曲について、独自の作曲技法に留意しながら楽曲分析を行い、作曲技法の変遷を辿った研究である。ノアゴーのこのジャンルの楽曲を網羅的に扱い、打楽器奏者の視点から詳細に分析した点はこれまでの先行研究に例をみない本研究の独自性として高く評価される。その一方で、論文全体としては、冒頭の目的で掲げた「ドラマ性」に対する考察や、ノアゴーの独自性とした「フラクタル構造」「無限音列」にもとづくより丁寧な分析的検証、各作品解釈の根拠に関してさらなる考察を求める指摘も重なった。

しかしながら、ノアゴーの独奏打楽器作品の研究や演奏に際し、実用的で有益な文献資料になることが期待できることから、論文審査委員会は合格と判定した。

## 3. 総合審査

申請者は、近年、演奏会を毎年企画開催するなど、演奏活動でリーダーシップを見せている。また音楽教育学の授業、学外イベントにも積極的に参加し、教員養成用テキストを共同で検討した際には専門領域ならではの知見を提供したほか、いかにして聴き手に音楽の魅力を伝えるか丁寧に検討してきた。こうした側面から、社会に専門的な知見を伝える担い手としての素質も認められる。これらのことから、今後、「自律して演奏会を企画し、説得力ある演奏を行うことができ」、音楽に関する科目を担当するための資質を備えていると考えられることから、学位審査委員会は「博士（音楽）」 Doctor of Musical Arts の学位を授与するにふさわしいものと判定した。